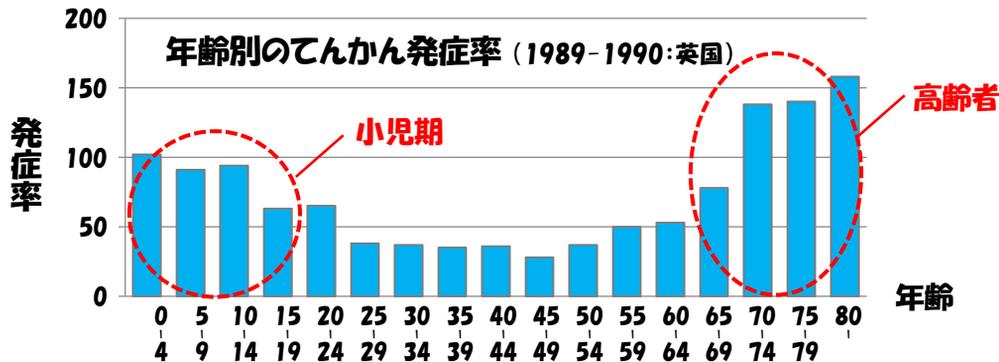


知っていますか・・・？ 「高齢者てんかん」

てんかんは子供の病気と思われがちですが、実際には65歳以上の高齢者にも多く発症しています。特に、近年では脳卒中などとは関連のない、しかも症状が極めて特徴的な「高齢者てんかん」が注目されています。



日本では、治療法の進歩により脳卒中生存者が増えたことで「脳卒中後てんかん」は確実に増加しつつありますが、その一方で「原因不明の高齢者てんかん」も多く認められるようになってきました。

高齢者てんかんは、手足をバタつかせるようなケイレン発作ではなく、おとなしく地味な発作です。「突然動作が止まり、無表情でボーッと一点を見つめている」といった意識障害を伴った発作であり、以下に示す自動症や前兆など多彩な症状を呈するのが特徴で、てんかん焦点としては側頭葉にある「海馬の老化」が深く関係しているとされています。

《高齢者てんかんの特徴的症狀》

手足をバタバタさせるようなケイレン発作はなく、おとなしい発作です



突然、動作が止まり、無表情で一点を見つめボーッとしている



口をモグモグしたり舌をペチャクチャと鳴らす



意味もなく、繰り返し服や周りの物をモソモソ触る



何をしていたか全く覚えていない(もうろう状態)



気が付かないうちにケガをしている



睡眠中、眼を開けているが、話しかけても反応がない



腹痛、嘔気、冷汗 既視感 *deja vu* 眠気、不安感



急に攻撃的になり、怒るような言動を発する

高齢者てんかんは静かで地味発作であり、発作が起きても本人にはその記憶がなく、発作後に暫く「もうろうとした状態」が続いたり、更には怒りっぽく攻撃的になるなどの感情障害もみられるため、油断していると認知症と間違われやすい病気と言えます。

実際のところ、アルツハイマー型認知症患者の10～20%に高齢者てんかんを発症するとされており、また高齢者てんかん患者は認知症を発症しやすいという報告もあるため、診断には注意が必要です。

《高齢者てんかん チェックリスト》

- ① ふだんは何の支障もなく日常の仕事をこなしている
- ② 突然、動作がぴたりと止まり、声をかけても反応しないことがある
- ③ 無自覚に口元をもぐもぐ動かし、身体をゆする、腕を動かすなどの動作がある
- ④ 意識を失っていても倒れない
- ⑤ 数十秒たつと、何事もなかったかのように動き始める
- ⑥ 意識がなかった間のことは何も記憶していない
- ⑦ 意識が戻っても、数分から数時間、ぼーっとしている
- ⑧ 怒りっぽくなり、意味もなく声を荒げることがある
- ⑨ 状態の良い時と悪い時がはっきりとしている
- ⑩ 眼の焦点が合っていない時がある

⇒ 該当項目が多いようなら要注意です！

⇒ 必ずしも65歳以上ではなく、50歳以上ならその可能性は十分にあります



《高齢者てんかんの治療》

高齢者てんかんは再発率が高く、原則として初回の発作から投薬治療を開始します。

幸いにして、抗てんかん薬の治療効果は非常に高く少量で効果が期待できること、更に治療の開始が遅れると薬効が出にくいことから、早期診断、早期治療が極めて重要と言えます。

《今後の課題》

今後、日本は未曾有の高齢化社会を迎え、認知症患者と同時に、高齢者てんかん患者も間違いなく増加することが予想されています。

また高齢者てんかんが、近年増え続け問題となっている高齢者ドライバーによる交通事故の一因となっている可能性も指摘されており、早急に対策を立てることが必要と考えられます。